

1. 第三者研究会の名称 人口減少社会に対応した都市の再整備に関する研究会（佐賀大学助教授 三島伸雄、横浜国立大学助手 和多治）	
2. 第三者研究会の概要及び対応	
意見の概要	意見に対する対応
<p>（報告書のタイトルについて）</p> <p>1. 報告書の内容と目的を表現したタイトルにすべき。例えば、「ドイツ、フランス、オランダにおける土地利用コントロール ～我が国の土地利用コントロールに向けて～」等。</p> <p>（報告書のまとめ方について）</p> <p>2. 海外の実態から論じ、国内調査については、できるだけ事例報告的にすることが望ましい。海外に関する情報を前半に固め、その後に参考として国内事例を入れる構成にしてはどうか。</p> <p>3. ドイツ、フランス、オランダの各国の土地利用コントロールの特徴をもっとわかり易く伝えるといいのではない</p>	<p>本研究は、人口減少社会で都市が持続的であるためには、郊外の土地利用コントロールが重要になると考え、そのための向けた知見を得ることを目的に、海外の法制度や運用を中心に調査を行った。このことを表現するため、ご意見でいただいたタイトルに「人口減少社会」と「郊外」を加え、報告書タイトルとした。</p> <p>「ドイツ、フランス、オランダの郊外の土地利用コントロールに関する研究 ～我が国の人口減少社会における土地利用コントロールに向けて～」</p> <p>参考について、国内、海外の順番から、海外を先にし、国内を報告書中でも最後に移した。</p> <p>各章のタイトルを、各国の土地利用コントロールの特徴を現す表現に変更し、その他、節タイトル等も適宜見直しを</p>

か。章タイトルで、各国の土地利用コントロールの特徴を表現する、各章のまとめで、各国の特徴を最初に簡潔に伝える等の工夫をすればいいのではないか。

4 . 本文の最後の 4 - 4 のタイトルは「おわりに：我が国のこれからの土地利用コントロールに向けて」とし、できるだけこれから議論が起こるような書き方にしてはどうか。例えば、「計画型土地利用計画への転換は可能か」、「計画の詳細さを策定主体の性格によって変えることは可能か」のような表現にしてはどうか。

5 . 海外調査では興味深い事例が数多く紹介されているが、それぞれが各国の中で一般的は事例なのか特殊解なのか判断できない。2 年目の調査も踏まえて、最終報告書では両国の全体像が分かるようにするとよい。(* 中間報告書の評価の時の意見)

行った。また、まとめでは、冒頭で、各国の土地利用コントロールの特徴を簡単に記述し、わかり易くなるように修正した。

アドバイスの通りタイトルを変更し、また、議論が起こるような表現を心掛けた。

2 カ年の調査では、各国の全体像を完全に整理することは難しいため、調査地は、制度の特徴が把握ができそうなところを選定している。例えば、開発圧力のある地域、各国の土地利用コントロール制度の課題が顕れている地域などである。したがって、必ずしも一般解ではないと考えるが、断定できないため、各国の調査地の選定意図を各章に記した。